



特集 2 知的探検うつくしま

今回のテーマ **バイオマス**

「バイオマス」ってなに？

バイオマスとは、動植物から生まれた再生可能な資源で、石油などの化石資源を除いたものをいいます。身近な例では、木材や稲わら、家畜排せつ物や生ごみなどがあります。

バイオマスの特徴とメリット

バイオマスの特徴

- 再生が可能で、石油などのようになくならない。
- ほとんどすべての地域で活用できる。
- 大気中の二酸化炭素(CO₂)を増加させない。*

バイオマスのメリット

1 地球温暖化の防止

バイオマスを利用することによりCO₂などを排出する化石資源の使用を抑制します。

2 循環型社会の形成

大量生産・大量消費・大量廃棄の社会から資源リサイクル社会への移行が促進されます。

3 新しい産業の育成

バイオマスを利用した新たな産業が生まれる可能性があります。

4 農山漁村の活性化

バイオマスの供給や主な利活用先として期待されています。

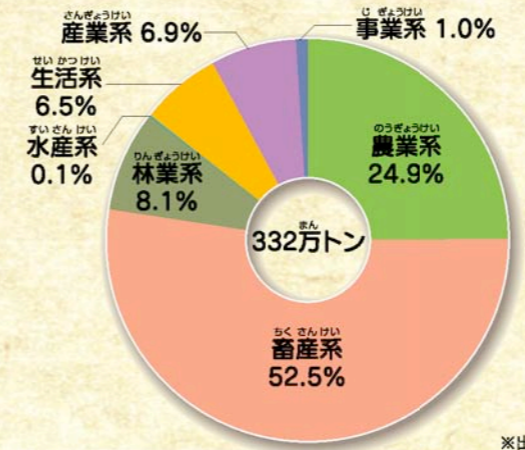


*バイオマスに含まれる炭素は、もともと大気中のCO₂を植物が光合成により吸収したものであるため、実質的に大気中のCO₂を増加させません。

バイオマスの利活用

福島県では、持続可能な循環型社会の実現を目指して、豊富なバイオマスの利活用を進めています。

福島県のバイオマスの種類と量



区分	具体的なバイオマス	発生量
農業系	わら、もみ殻、野菜残さなど	82.5万トン
畜産系	家畜排せつ物	174.4万トン
林業系	木くず、おがくず、林地残材など	27.0万トン
水産系	水産加工残さなど	0.3万トン
生活系	生ごみ、農業集落排水汚泥など	21.7万トン
産業系	下水汚泥など	23.0万トン
事業系	食品加工残さなど	3.1万トン
合計		332.0万トン

※出典:福島県バイオマス総合活用指針「うつくしまバイオマス21」年間当たりの有機性資源発生量

地域での取り組み

須賀川市のケース

菜の花から作られた油を食品として使い、その廃油をディーゼルエンジンの燃料として利用するとともに、油かすをたい肥や飼料にする、「菜の花プロジェクト」に取り組んでいます。



岳温泉のケース

二本松市にある岳温泉では、旅館から出る生ごみを地元の農場まで運び、そこでたい肥化し、それを使って地元の農家が育てた有機野菜を旅館の料理に出すという、循環型農業に取り組んでいます。



Q バイオマスの利活用を進めるために何ができますか？

A バイオマスの利活用には、地域にどんな資源があって将来それをどう使っていけばよいのか、地域の皆さんが一緒になって考え、そして行動することが大切です。皆さんも、今まで知らないものと思っていた身近なバイオマスを地域の宝物として見直すことから始めてみませんか。

問 県庁首都機能移転・超学際グループ ☎024(521)7129 / 県庁循環型農業グループ ☎024(521)7342
 HP <http://www.pref.fukushima.jp/syuto/biomass/suishin/top.htm>